

3. 1 1 を迎えるにあたって

アニバーサリー反応とは

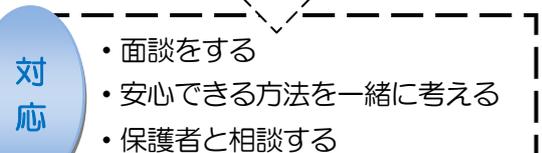
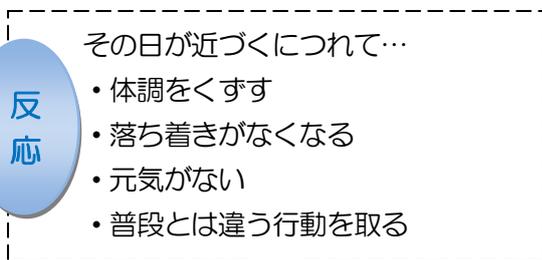
アニバーサリー反応を日本語にすると、「記念日反応」となります。つまり、何か重大な出来事が起こったその日が近づいてくるに従って、その日の情景が蘇ってきたり、その時と同じようなカラダの反応が出たりすることです。しかしこれらはごく自然な反応で、誰でも経験することなのです。

沿岸部の児童生徒だけではなく、内陸部においても被災地から転校してきた児童生徒、親戚等に被災した方がいる児童生徒、また特に被災がない場合でもテレビの映像やサイレン等によっても、このような反応が見られることがあります。

学校で心がけたいこと

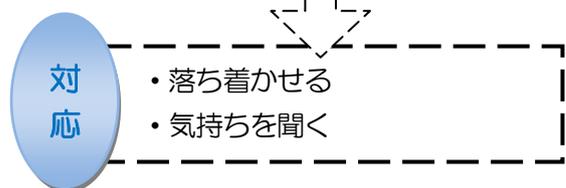
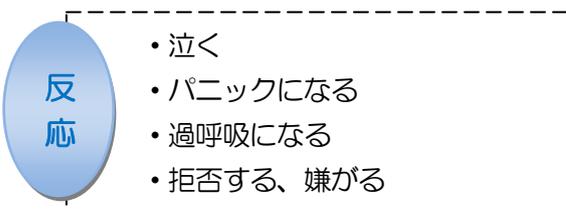
① 事前に心がけたいこと

- ・「アニバーサリー反応をあらわす児童生徒がいるかもしれない」と予想して、対応を考えておきましょう
- ・心配な児童生徒については個別のサポートを行いましょ



② 当日に心がけたいこと

- ・具体的には以下のような児童生徒が現れるかもしれません。



反応をあらわした児童生徒については、継続したフォローが必要になります。後日、個別の支援の方法を考えましょう。

※このような反応は、3.11に限って起こることではありません。ストレスが大きくなった時にはいつでも起こる反応です。

【大切なのは、安心・安全の場を提供すること】

こういった反応が出たときには、安心・安全な場を提供することがとても大切です。安心・安全を感じることができると、怖い記憶、悲しい記憶が少しずつ薄らいでいきます。ですから、もし反応が出て心配ありません。肝心なのは、普段から先生方が児童生徒と良い関係づくりをし、学校がより安心・安全を感じられる場所になっていくことだと思います。

昨年度作成したアニバーサリー反応に係る資料は、こちらからダウンロードできます。

http://www1.iwate-ed.jp/tantou/tokusi/h23_kokoro_s/kokosapo_top.html#siryou

学校不適応対策指導資料バックナンバーは、こちらからダウンロードできます。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=1813&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1813>